

群馬県

埼玉県

東京都

要害山城

新府城

武田氏館

甲府城

山梨県

富士山

神奈川県

静岡県





# 24 武田氏館

--- 100名城 ---  
2020.10.04

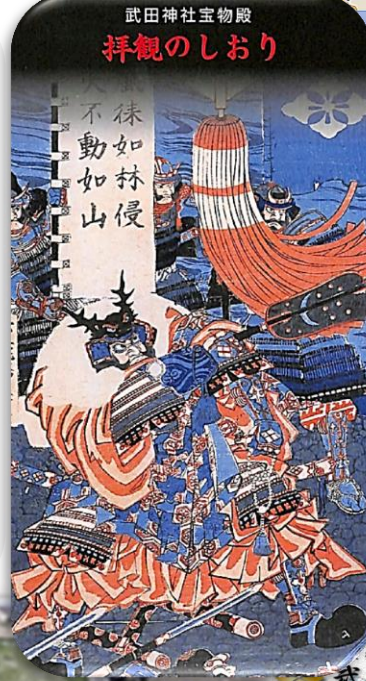
別名:  
躑躅ヶ崎館 (つじがさきやかた)



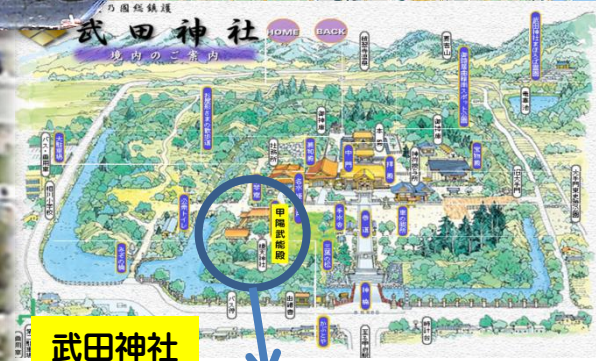
武田氏三代(信虎、信玄、勝頼)の城で、甲斐源氏の流れを汲む18代当主信虎が甲斐を統一して1519年に居宅を石和から移し、館(別名:躑躅ヶ崎館)を築いたことに始まります。また翌年には背後の山上に籠城するための詰城、要害山城(続100名城)を築いており、現在は、「武田氏館跡」として武田神社となっています。

## 詰城と城砦群による防衛体制

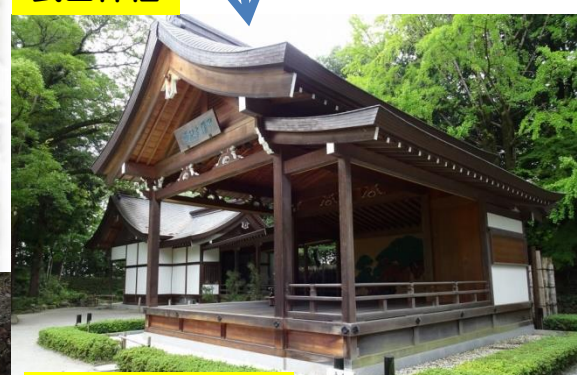
外縁には詰城として城砦群が発達し、館の北部には要害山城(積翠寺城/続日本100名城No.128)や湯村山城、南の一条小山(のちに甲府城/日本100名城No.25が築かれる)にも山城や砦が築かれ、居館と詰城、支城による府中防衛体制を整えた。



武田氏館跡(武田神社) [空撮]・観覧券より



武田神社



甲陽武能殿



# 25 甲府城

--- 100名城 ---  
2020.10.04



別名：甲斐府中城、一条小山城、府中城、舞鶴城(雅称)

現在の甲府市中心街の一条小山上に平山城が築城さ、躑躅ヶ崎館(武田氏居館)の支城として武田城下町が造成された。武田氏滅亡後に甲斐を領した徳川氏や豊臣系大名が甲斐を支配し、甲府城を築城して新たに甲府城下町が整備されました。



甲府城は先の小諸城同様、JR中央線が中を横切っており、北側(歴史公園)に大手門・南側(舞鶴城公園)に残りがあり、市民に愛されています。ここで別名の舞鶴城は新潟の村上城にも見られるため調べると、[雅称]であることが分かり、詳細は下記にまとめました。



稲荷櫓

## 舞鶴城(まいづるじょう/ぶかくじょう)

日本城の雅称は、少なくとも16のお城が存在します。その中で日本(続)100名城があるのは、名城3城・続名城4城の7城あります。因みに地名の舞鶴市のお城は、丹後田辺城といえます。この雅称名もありますが名城入りはしていません。7城列記しますと、

- ※100名城： 25甲府城・85福岡城・96飫肥城(おびじょう/宮崎)
- ※続100名城： 109米沢城・110美晴城(福島)・131村上城(新潟)・185唐津城(佐賀)

## 舞鶴城公園(甲府城)



鍛冶曲輪門

公園管理事務所 遊亀橋 出入口

広報パンフレット



# 127 新府城

しんぶ じょう

--- 続100名城 ---

2020.10.03



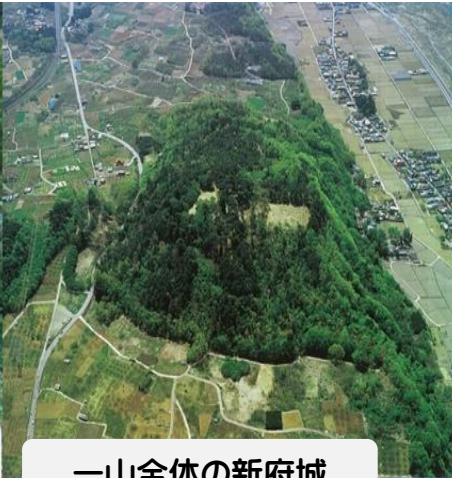
別名： 萑崎城、萑崎館 (にらさきやかた)

新府城は、出構や丸馬出、枡形を備えた大規模な城で、武田流築城術の集大成ともいわれています。

しかし、武田氏最後の城ともなっています。織田・徳川連合軍が迫る中、武田勝頼は何を想ってこの城を築いたのか。勝頼入城からわずか68日で火を放たれた悲劇の城です。



登城口  
数百段の階段



一山全体の新府城



想定復元図



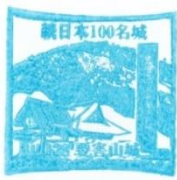
広大な本丸跡



# 128 要害山城

ようがいさんじょう

--- 続100名城 ---  
2020.10.04

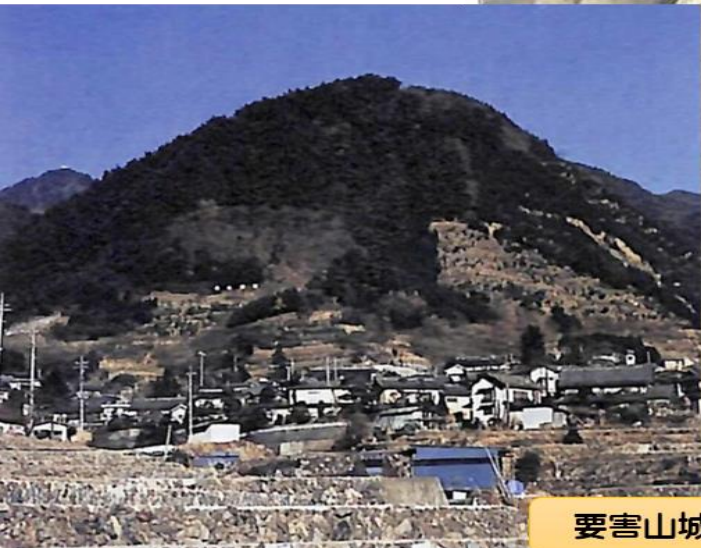


別名: 要害城、積翠山城、丸山の城、石水寺城



要害山城は武田氏館跡(躑躅ヶ崎館つつじがさきやかた)の詰城として築かれた山城である。要害城の支城として熊城(くまじょう)があり、要害山城の東側をガードするように築かれている。また、武田信玄の生誕の地としても伝えられています。  
武田氏滅亡後も徳川氏により改修し維持されていましたが、羽柴秀勝が甲府に入り甲府城を築城したことにもない、躑躅ヶ崎館とともに廃城となりました。

要害山城は甲府城から北側の山へ一本道(3.7Km高低差約400m)で繋がっており、その中間点くらいに武田氏館跡があります。下のMapで、「多分ここ」が登城口であると思うのですが、そこから先があまり整備されてなく荒れた感じで、しかも、熊の出没が今年は多く報道されていることもあり、迷った末諦めました。機会があればリベンジしたいです。この時期誰もおらず怖かったです。



要害山城



多分ここ



武田信玄

武田信虎

武田勝頼

パンフレットより

要害山復元想定図

(考証・イラスト/藤井尚夫)